

# 事業報告書

2022年度

(第27期)

2022年4月 1日から  
2023年3月31日まで

公益財団法人栢森情報科学振興財団

## 2022年度事業報告書

< 概 況 > . . . . .	3
< 事 業 活 動 > . . . . .	5
I 助成事業 (公益目的事業1)	
1. 研究に対する助成	
2. 国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、 セミナー、研究集会及び研修会の開催に対する助成	
II 講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会の開催 (公益目的事業2)	
「第20回 Kフォーラム」開催	
III 機関誌、論文集刊行及び啓蒙事業 (公益目的事業3)	
出版物の編集及び刊行	
< 管 理 部 門 > . . . . .	6
1. 理事会	
2. 評議員会 . . . . .	8
3. 選考委員会	
4. 契約に関する事項 . . . . .	9

## < 概 況 >

本年度、公益法人制度や定款及び諸規程のもと1年間活動してまいりました。公益財団法人としての意識を持ち、今まで以上の社会への貢献、また社会からの期待にこたえるべき活動を心がけ、全力を挙げて取り組みました。

### 助成事業（公益目的事業1）

助成事業では、情報に関する自然科学、人文社会科学分野の基礎的、萌芽的又は総合的な研究及びフォーラム、シンポジウム、セミナー開催に対する助成を行い、学術の発展に寄与することを目的として活動いたしました。

#### 1. 研究に対する助成

研究に対する助成では、情報科学に関する学部及び学科のある全国の大学、大学院、また情報に関連する研究を行っている公的試験研究機関、高校や高専など全国を対象に公募型助成を行いました。より広くそして多くの方から応募いただくよう、応募期間を3ヶ月間とし、また応募要領を作成し、大学等に配布したり、当財団のHPに掲載したりし、研究助成に114件の応募がありました。10月8日に、情報科学の専門家による選考委員会を開催し、選考基準である内規をもとに公平に選考した結果、21件が採択され、総助成金額は2,000万円となりました。

#### 2. フォーラム等開催助成

フォーラム等開催助成では、情報に関する自然科学、人文社会科学分野に関連するフォーラム、シンポジウムなどの開催に対し公募型助成を行いました。研究に対する助成と同様に、応募要領の配布や本財団のHPへ応募要領を掲載し、広く応募を募りました結果、9件の応募があり、4件が選考委員会で採択されました。総助成金額は200万円となりました。

### 講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会の開催等開催事業（公益目的事業2）

今年度、フォーラム等の開催は「第20回Kフォーラム」を開催しました。情報に関する自然科学、人文社会科学分野の学術発展に寄与するとの目的からです。「第20回Kフォーラム」は「ざっくばらんフォーラム AI・ロボットも使ってこそ使われてこそ—新たな共創・共生時代を拓く—」をテーマに、8月25日から岐阜県高山市で3日間の日程で開催いたしました。当フォーラムは、新型コロナ禍での一昨年・昨年（2年間）の中止を除き、永年にわたって継続的に開催しております。

### 機関誌、論文集刊行及び啓蒙事業（公益目的事業3）

今年度実施した助成事業の内容、今年度開催のフォーラム内容などを掲載した機関誌「K通信」を2回刊行しました。情報科学に関連する大学等に機関誌を無償で配布すると共に当財団の活動もご理解いただくべく活動を行いました。また本財団のHPにも掲載し、情報科学関連に興味のある一般の方々にも情報提供できる環境としております。

## 管理部門

公益法人として、公益事業の目的達成のための管理に心がけ活動いたしました。また、会計においては、月次監査により、正しく運用ができているかを確認するなどの行動をおこないました。

## < 事業活動 >

### I 助成事業（公益目的事業1）

#### 1. 研究に対する助成

##### ① 研究助成募集

- ・ 募集期間 2022年6月1日(水)～8月31日(水)
- ・ 研究テーマ 情報科学に関する基礎的・萌芽的または総合的研究
- ・ 研究助成金総額 2,000万円
- ・ 選考委員会開催日 2022年10月8日(土)
- ・ 場所 名鉄グランドホテル
- ・ 応募件数 114件
- ・ 採択数 21件

#### 2. 国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会の開催に対する助成

##### ① フォーラム・シンポジウム等開催助成募集

- ・ 募集期間 2022年6月1日(水)～8月31日(水)
- ・ 助成金の総額 200万円
- ・ 選考委員会開催日 2022年10月8日(土)
- ・ 場所 名鉄グランドホテル
- ・ 応募件数 9件
- ・ 採択数 4件

### II 講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会の開催 （公益目的事業2）

#### 「第20回 Kフォーラム」開催（主催事業）

- ・ テーマ ざっくばらんフォーラム『AI・ロボットも使ってこそ使われてこそ  
ー新たな共創・共生時代を拓くー』

### III 機関誌、論文集刊行及び啓蒙事業（公益目的事業3）

#### 1. 出版物の編集及び刊行

- ・ 機関紙「K通信」を次の通り発行いたしました。

発行	号	発行部数
2022年 6月	第51号	200部
2022年12月	第52号	200部

## < 管 理 部 門 >

### 1. 理事会

第25回理事会（決議の省略）

成立日 2022年5月16日(月)

書面による理事長の提案議案に対し、全理事7名からの同意書と全監事2名からの異議のない旨回答書を受領。

議案

1. 2021年度(第26期) 事業報告書及び決算書類の承認
2. 2022年度(第27期) 基本財産指定承認
3. 公益目的事業遂行のため基本財産の一部を処分することの承認
4. 本財団保有の株式の発行会社の株主総会の議決権行使の承認及び議案の賛否を理事長に一任することの承認
5. 選考委員任期満了に伴う選任
6. 相談役任期満了に伴う再任
7. 第25回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項決定

第12回臨時理事会（ハイブリッド会議）

開催日時 2022年6月2日(木)午後5時15分から5時30分

開催場所 名鉄グランドホテル及び各役員事務所

出席者 決議に必要な理事数4名に対し、理事7名また監事2名が出席した

議案

1. 役付理事選定の件
2. 代表理事選定の件
3. 法定報告：一般法人法第91条第2項に規定の、代表理事による自己の職務の執行状況の報告

第26回理事会（決議の省略）

成立日 2023年2月17日(金)

書面による理事長の提案議案に対し、全理事7名からの同意書と全監事2名からの異議のない旨回答書を受領。

議案

1. 2023年度事業計画書案及び収支予算書案、資金調達及び設備投資の見込みの承認の件
2. 第26回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定の件

第13回臨時理事会（ハイブリッド会議）

開催日時 2023年3月2日(木)午後5時30分から5時45分

開催場所 名鉄グランドホテル及び各役員事務所

出席者 決議に必要な理事数4名に対し、理事7名また監事2名が出席

議案

1. 法定報告：一般法人法第91条第2項に規定の、代表理事による自己の職務の執行状況の報告

## 2. 評議員会

### 第25回定時評議員会（ハイブリッド会議）

開催日時 2022年6月2日(木)午後4時30分から5時15分

開催場所 名鉄グランドホテル及び各役員事務所

出席者 決議に必要な評議員数4名に対し、評議員7名及び代表理事2名並びに  
監事2名が出席

#### 議案

1. 2021年度(第26期) 事業報告書及び決算書類の承認の件
2. 2022年度(第27期) 基本財産指定承認の件
3. 公益目的事業遂行のため基本財産の一部を処分することの承認の件

### 第26回評議員会（ハイブリッド会議）

開催日時 2023年3月2日(木) 午後5時から5時30分

開催場所 名鉄グランドホテル及び各役員事務所

出席者 決議に必要な評議員数4名に対し、評議員6名及び代表理事2名並びに  
監事2名が出席

#### 議案

1. 2023年度事業計画書案及び収支予算書案、資金調達及び設備投資の見  
込みの承認の件

## 3. 選考委員会

### 2022年度選考委員会（ハイブリッド会議）

開催日時 2022年10月8日（土）午後1時から午後5時15分

開催場所 名鉄グランドホテル

出席者 選考委員6名

会議内容 2022年度研究助成及びフォーラム等開催助成選考

研究助成 応募数	114件
採択	21件
助成総額	2,000万円

フォーラム等開催助成

応募数	9件
採択	4件
助成総額	200万円



#### 4. 契約に関する事項

- ・契約内容 業務委託

契約日 2022年4月1日更新

契約相手 ダイコク電機株式会社

契約概況 毎月5万円(税込)を業務委託費として当月に支払う。平成12年4月から1年更新で継続契約。

- ・契約内容 事務所使用賃借契約書

契約日 2022年4月1日更新

契約相手 ダイコク電機株式会社

契約概況 ダイコク電機本社ビル 7階の一部無償使用

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。